

せせらぎ遊歩道ワークショップ通信

Vol.1

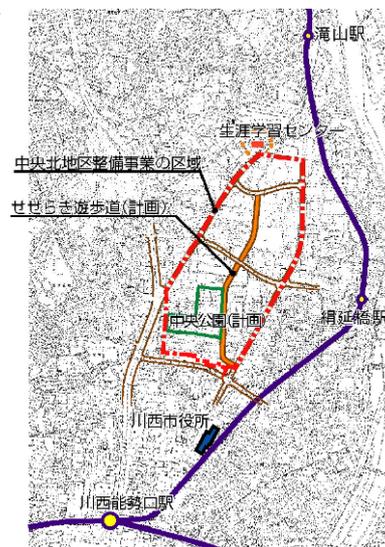
発行
平成 23 年 8 月 19 日

せせらぎ遊歩道ワークショップがスタートしました！！

去る7月31日（日）、川西市生涯学習センターにおいて「第1回せせらぎ遊歩道ワークショップ」を開催しました。

川西市では、現在、中央北地区整備事業として農業用水路を活用し、新たな小川のような水路のあるせせらぎ遊歩道の整備を計画しています。このワークショップでは、せせらぎ遊歩道南線の整備に向け、公募による市民や関係権利者の方々等さまざまな視点からアイデアを出し合うとともに、整備後の運営・活用方法の仕組みに至るまでをみんなで一緒に考えよう！という目的でスタートしました。

本通信では、ワークショップで交わされている熱い議論の成果をご報告します。



●ワークショップの開催日程

本ワークショップは、全9回の開催を予定しています。開催日程・検討内容は下図の通りです。

第1回 7月31日（日） 趣旨説明 自己紹介 現地調査	第2回 9月3日（土） 暮らし方（使い方） の共有 （写真イメージゲーム）	第3回 9月末～10月初旬予定 暮らし方（使い方） の共有 （マップソーニング）	第4回 10月中旬予定 先進事例見学会	第5～7回 11月～12月予定 デザインの共有 （暮らし方をふまえた 基本設計に向けて）	第8～9回 1～2月予定 育て方の共有 （整備後の 管理運営計画等）
--	--	---	----------------------------------	---	---

第1回ワークショップでは現地歩きを行いました！！

～プログラム～

平成 23 年 7 月 31 日（日） 14 時～17 時

- その1 あいさつと主旨説明
- その2 ワークショップの進め方
- その3 現地歩き
- その4 グループワーク
- その5 まとめと次回の予告

参加者は4つの班に分かれ、班ごとに役割（写真係、計測係、記録係）を決め、中央北地区整備事業区域の既存水路付近を中心に、現地確認と地域の資源探しを行うため、現地歩きを行いました。

現地歩きの途中で、水路の水深の計測や目視による水質の確認、1.6mのロープを使って整備する遊歩道の幅員を確認しました。



現地歩きの様子



現地歩きの様子

第1回 ワークショップの概要は以下のとおりです

【参加者28名】

A班 (参加者8名)

○まちの資源・よい点など

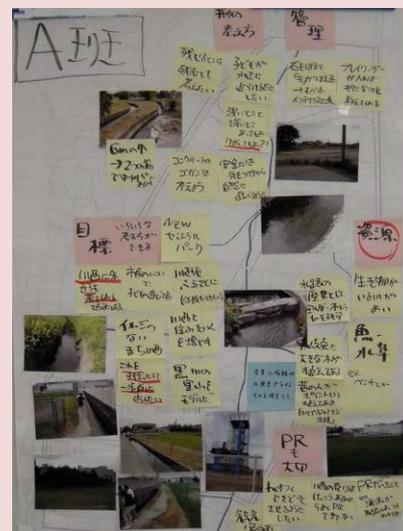
- ・魚や水生生物・水草など生き物が多くいることがよい。
- ・農業用水路としての歴史を表す、田んぼや水路の分岐点にある樹木などを残したい。
- ・水路の分岐点の樹木は、水路のポイントをわかりやすくし、一休みする場所として設けているのではないかと。そこにベンチなどを置くことなどが考えられる。
- ・皮革工場があったという歴史がわかるものも残した方がよい。

○問題点・課題

- ・コンクリートの護岸は考え直す必要がある。

○これから考えたいこと

- ・川西市に市外からも来てもらえるような場所づくりができないか。
- ・16mの幅の中で現在もあるような2筋の水路を設けてもよい。中州があるのもおもしろい。
- ・石張りにすると苔がはえて滑りやすくなるのでメンテナンスのことも考える必要がある。
- ・プレイリーダーを配置することで、危ない場所や危ないことなどに対する対策となる。



五月山がきれいに見えた



オオカナダモの花が咲いていた



水路が分岐している



区域内に田んぼがある

B班 (参加者8名)

○まちの資源・よい点など

- ・水がきれいで、水生生物・植物が多く生息していた。
- ・カワニナが多く生息していることから、ゲンジボタルが飛ぶのも夢ではないと感じた。
- ・コンクリート張りの水路でありながら、準絶滅危惧種に記載されているヤリタナゴが生息していた。阪神間では川西市にしか生息していないと考えられる。
- ・今回現地歩きをした500mくらいの範囲でも、生息している生物に違いがあり面白かった。子ども達にもこの水路に多くの生き物が生息していることを伝えていきたい。

○問題点・課題

- ・日陰になる場所が少なく、暑かった。人が行きかえり集う場所になる様、木陰等があればいいと感じた。
- ・今後、せせらぎ遊歩道の整備によって生態系が壊れないかが心配である。

○昔話・こぼれ話

- ・空地を見て、昔は工場がたくさん建ち並んでいたことを思い出した。
- ・昔、サギが水路に来ているのを見たことがある。水生生物や植物だけでなく、鳥なども集まるせせらぎになると良い。



水がきれいである



多様な生物が生息している



カワニナが多く生息している



日陰になる場所が少ない

現地歩きの後、写真に撮ったもののポイントや、現地歩きを通して感じたことなどを振り返りながら、「地域の資源」「活用すべき資源」「その他気づいた点」などについて班のメンバーで発表し合いながら、付箋に書き込みマップを作成しました。（意見の一部を抜粋）

C 班（参加者6名）

○まちの資源・よい点など

- ・水路の水が非常に澄んでいて、きれいだった。
- ・地区の東西の両側に五月山と石切山を望むことができ、良いところである。
- ・水生生物（タモロコ、カワニナ、ヤリタナゴ）がたくさんいることに驚いた。
- ・もともとの工場の敷地にあった木（桐など）が涼しげでいやされる。

○問題点・課題

- ・一部水がよどんでいる所があった。
- ・地区内の水路は全て3面貼りで、触れにくい。
- ・閑止めのところに空き缶などのゴミがたくさん溜まっていた。
- ・今後、みんなで使っていくためにはきれいにする等の対応が必要かもしれない。
- ・人が入れるようにすると生き物に影響があるのではないかな

○これから考えたいこと

- ・川には人が入れるようにしたい。
- ・直線的な部分が多いので、整備の際には変化が必要ではないだろうか。
- ・水量は一定の方がいいと思うが、水門で調整できるのだろうか。
- ・舗装についても、検討していきたい。



多様な生き物が生息していた



水門のところは水路幅が広がった



五月山と石切山が見える



緑が涼しげである

D 班（参加者6名）

○目標

- ・安心安全なせせらぎ、歴史を感じるものにしたい。
- ・人が集まれる広場を作りたい。

○現地と水路からの印象

- ・東に「五月山」、西に「石切山」「釣鐘山」「前山」、北に「萩原台」「鶯が丘」、そして猪名川に隣接し、山に囲まれた落ち着いた場所である。
- ・生き物が意外に多かったし、水流量が豊富で水質も良い方である。
- ・川床のコンクリート化されたところが多く、生物的には課題がある。
- ・実際に歩くとても広い土地があり、いろいろな可能性が感じられた。

○整備にあたっての考え

- ・地域として、心安らぐポイントにしたい。
- ・ホテルのとびことをイメージされているが、カワニナもおり可能性はあるが都市的な環境や人工的な条件では大変困難に思う。
- ・遊歩道の幅 16mの広さは、広いようで狭い。よく理解して計画しないとイケない。
- ・この地域の地質構造や植生・生物の現状、農業用水などの条件を踏まえながら、資源を活かし地域の安らぎの場や川西市の名所として、多様な活用が息づく遊歩道としたい。



水質は概ねよい



分岐点にムクの木が植えられていた



広い土地がある



コンクリート護岸が多い

最後に、コーディネーターの先生より、本日の総評をしていただきました！

加我 先生 (大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 准教授)

- ・計画幅員の16mは広いようで狭く、使い勝手がいいようで悪いかもしれません。沿道に色々な施設や公園が出来ますが、この16mで解決出来る事、沿道と一緒に出来る事を次回以降考えていきたいと思えます。
- ・ここは猪名川の水によって出来ている水路です。広域的なつながり、せせらぎ遊歩道からの新たなつながりを一緒に考えていけば、川西市のPRにもつながると思えます。



今西 先生 (NPO 法人 野生生物を調査研究する会 理事)

- ・発表でも出ていましたが、潜在植生や歴史的背景、この地域が持つ特色も大事にして計画を進めていきたいと思えます。
- ・現地歩きの時に水路に架かった橋も目に付き、名前や形の由来などが気になりました。
- ・16mの計画幅員をどう活かしていくか、みなさんの知恵を凝縮していかなくてはなりません。今後、色々な人が憩える場所になるような想を持って考えていけたらと思えます。



澁野 先生 (写真家)

- ・せせらぎ遊歩道を川西市を全国に広める魅力的な場所にしたいと言った意見がありましたが、大きな目標を持って取り組んでいくという面で良いアプローチの仕方だと思えました。
- ・せせらぎ遊歩道は駅からも近く、周辺に住宅や工業地域もあり、また歴史ある地域の真ん中にあります。それぞれの思いがうまく溶け合い、造られたものでなく造り上げた公園や遊歩道になればいいと思えます。

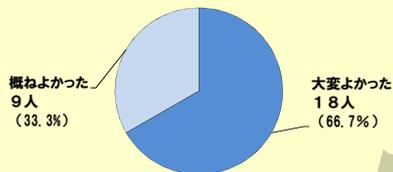


●ふりかえりシートの結果

ワークショップ終了後、参加者の皆さんには、「ふりかえりシート」(アンケート)によって、当日のワークショップについてふりかえっていただきました。その結果の概要は以下のとおりです。(回収27件)

■第1回ワークショップの評価

回答者の方全員に「大変よかった」または「概ねよかった」とご回答いただきました！！今後も参加して大変良かったと思っていただけるような企画にしていきたいと思えます。



■本日のワークショップの感想等

- ・メンバー全員が和気あいあいと意見を出すことができ、第1回ワークショップとして良かったと思えます。
- ・中央北地区の南の端まで歩く時間がなかったので少し残念でしたが、現地を見ることができてイメージが高まりました。
- ・グループに学生や子どもも年に何回か参加できればと思いました。
- ・「せせらぎ遊歩道」というネーミングがいいと思えます。川西のイメージアップになって欲しいです。
- ・木や川や虫、魚、動物に詳しい専門家がいらそうです。それらを統合してとらえ、生物の存続を目指さないといけないと思えました。楽しかったです。
- ・中央北地区の全体の中で「せせらぎ遊歩道」をどう位置づけていくのかを検討していくことが必要だと思います。
- ・他のグループの方と全然接点がないので、何か工夫をお願いします。

●今後の予定

こどもワークショップ

平成23年8月23日(火) 13時~16時半

第2回せせらぎ遊歩道ワークショップ

平成23年9月3日(土) 14時~16時半

〈連絡先〉川西市役所 中央北整備部 中央北推進室 地区整備課

〒666-8501 兵庫県川西市中央町12番1号 TEL:072-740-1207(直通) FAX:072-740-1330